

# 2022年9月期第3四半期決算

---

**MRI** 三菱総合研究所

2022年8月1日

- 1 2022年9月期第3四半期決算
- 2 2022年9月期業績予想
- 3 トピックス

## 2022年9月期 第3四半期のまとめ

- 売上・利益とも過去最高、基準変更影響を除いた実質ベースでも増収・増益
- 経常利益は「中期経営計画2023」目標を前倒し達成見通し(⇒P13)

**売上高：** 実績 916億円 前同比 +112億円

- 基準変更影響+29億(⇒P5)、実質前同比 +82億の886億:過去最高
- シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC):官公庁(大型案件、先端ICT案件等)で実質+63億
- ITサービス(ITS):金融・カード伸長で実質+19億

**経常利益：** 実績 104億円 前同比 +30億円

- 実質前同比 +21億円
- TTC:官公庁向け好調を維持、実質増益(+13億)
- ITS:金融・カード向け好調により実質増益(+8億)

**純利益：** 実績 78億円 前同比 +27億円

- 実質前同比 +22億円
- 政策保有株式、子会社(UBS)株式売却等

## 第3四半期連結決算 <前同比>【会計基準変更影響含む】

- 官公庁、金融・カード案件の好調維持、基準変更に伴う売上前倒しに伴い、大幅増収・増益
- 旧会計基準による比較は次ページ(P5)参照

(百万円)

	2021年9月期 3Q累計	2022年9月期 3Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	80,402	91,673	+11,270	+14.0%
売上総利益	18,986	22,250	+3,263	+17.2%
売上総利益率	23.6%	24.3%	+0.7P	
販売費及び一般管理費	12,345	12,914	+568	+4.6%
営業利益	6,641	9,335	+2,694	+40.6%
営業利益率	8.3%	10.2%	+1.9P	
経常利益	7,364	10,430	+3,066	+41.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,046	7,819	+2,772	+54.9%
1株当たり四半期純利益(円)	310.80	481.69	+170.89	

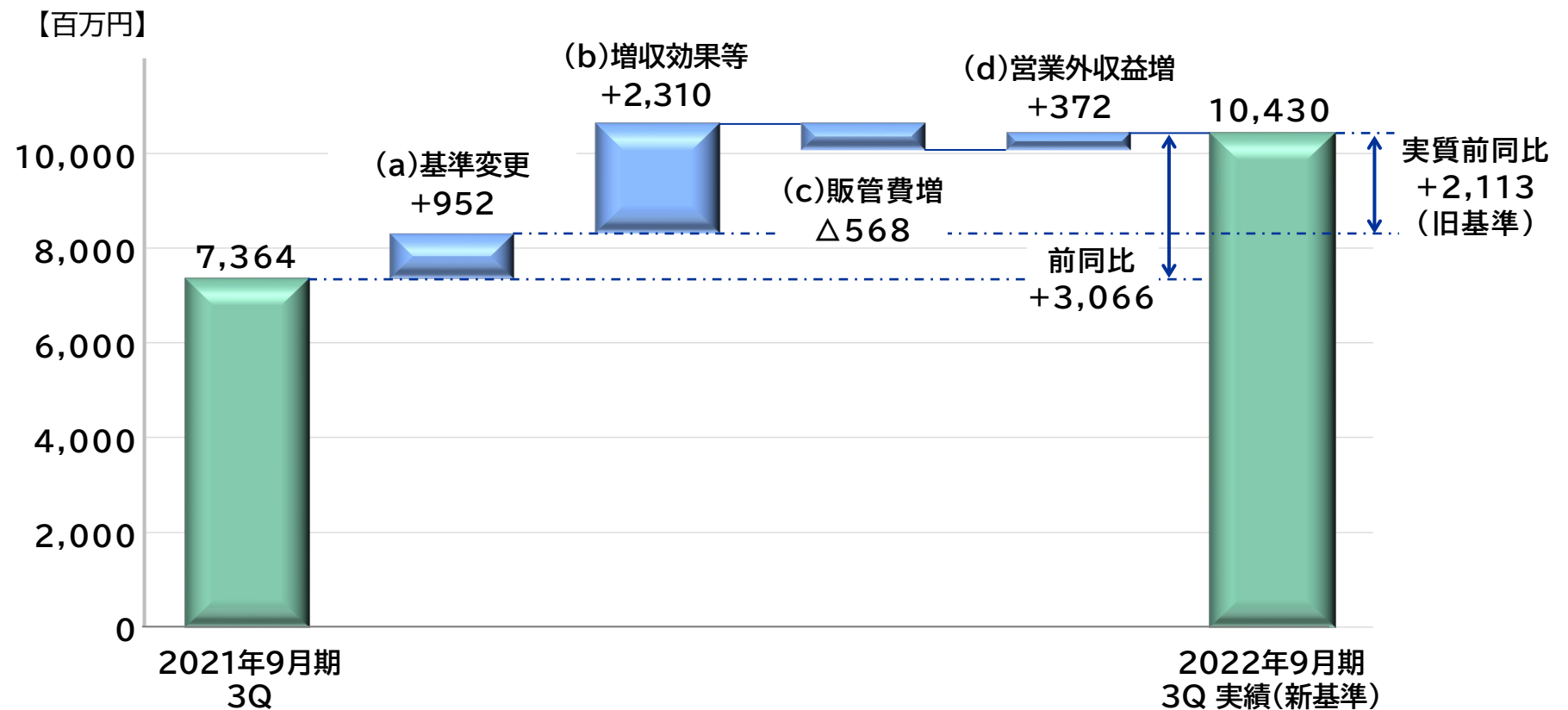
## 第3四半期連結決算 <前同比>【旧会計基準での比較】

- 基準変更影響を除外した旧基準での比較による実質前同比でも過去最高益
- 政策保有株・子会社売却等による特別利益計上に伴い実質前同比で純利益増 (百万円)

	2021年9月期 3Q累計	2022年9月期 3Q累計			実質前同比	
		実績 (新基準)	基準変更 影響	実質 (旧基準)	実質 増減額	実質 増減率
売上高	80,402	91,673	+2,981	88,691	+8,288	+10.3%
売上総利益	18,986	22,250	+952	21,297	+2,310	+12.2%
売上総利益率	23.6%	24.3%	—	24.0%	+0.4P	
販売費及び一般管理費	12,345	12,914	—	12,914	+568	+4.6%
営業利益	6,641	9,335	+952	8,383	+1,741	+26.2%
営業利益率	8.3%	10.2%	—	9.5%	+1.2P	
経常利益	7,364	10,430	+952	9,478	+2,113	+28.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,046	7,819	+522	7,297	+2,250	+44.6%
1株当たり四半期純利益(円)	310.80	481.69	—	449.54	+138.74	

## 経常利益の変動要因 <前同比>

- 21/9期3Qの73億に対し、会計基準変更影響(a)、増収効果等(b)が主要因となり、22/9期3Q実績は、104億と過去最高
- 基準変更影響(a)を除く実質前同比((b) + (c) + (d))は、+21億



# シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

(百万円)

	2021年9月期 3Q累計	2022年9月期 3Q累計			実質前同比	
		実績 (新基準)	基準変更 影響	実質 (旧基準)	実質増減額	実質増減率
売上高	33,735	40,848	+759	40,089	+6,354	+18.8%
営業利益	4,396	5,359	△40	5,399	+1,003	+22.8%
営業利益率	13.0%	13.1%	—	13.5%	+0.5P	
経常利益	4,944	6,212	△40	6,252	+1,307	+26.5%
受注高	42,527	41,774	—	41,774	△752	△1.8%
受注残高	39,887	34,508	△8,837	43,346	+3,459	+8.7%

## 主なポイント

- AIシミュレーション、ローカル5G等大型案件、最先端ICT、省エネ関連案件など官公庁案件がけん引し、実質大幅増収(+63億)、過去最高
- 利益率向上による営業利益増(+10億)、持分法投資利益等の増加が加わり経常利益増(+13億)で、過去最高
- 受注高は前期大型案件の反動で△7億も、417億と高水準
- 受注残高は実質前同比+8.7%

# ITサービス(ITS)

(百万円)

	2021年9月期 3Q累計	2022年9月期 3Q累計			実質前同比	
		実績 (新基準)	基準変更 影響	実質 (旧基準)	実質増減額	実質増減率
売上高	46,667	50,824	+2,222	48,602	+1,934	+4.1%
営業利益	2,245	3,978	+992	2,985	+739	+32.9%
営業利益率	4.8%	7.8%	—	6.1%	+1.3P	
経常利益	2,419	4,220	+992	3,227	+807	+33.4%
受注高	50,356	52,942	—	52,942	+2,585	+5.1%
受注残高	46,125	46,285	△5,374	51,660	+5,534	+12.0%

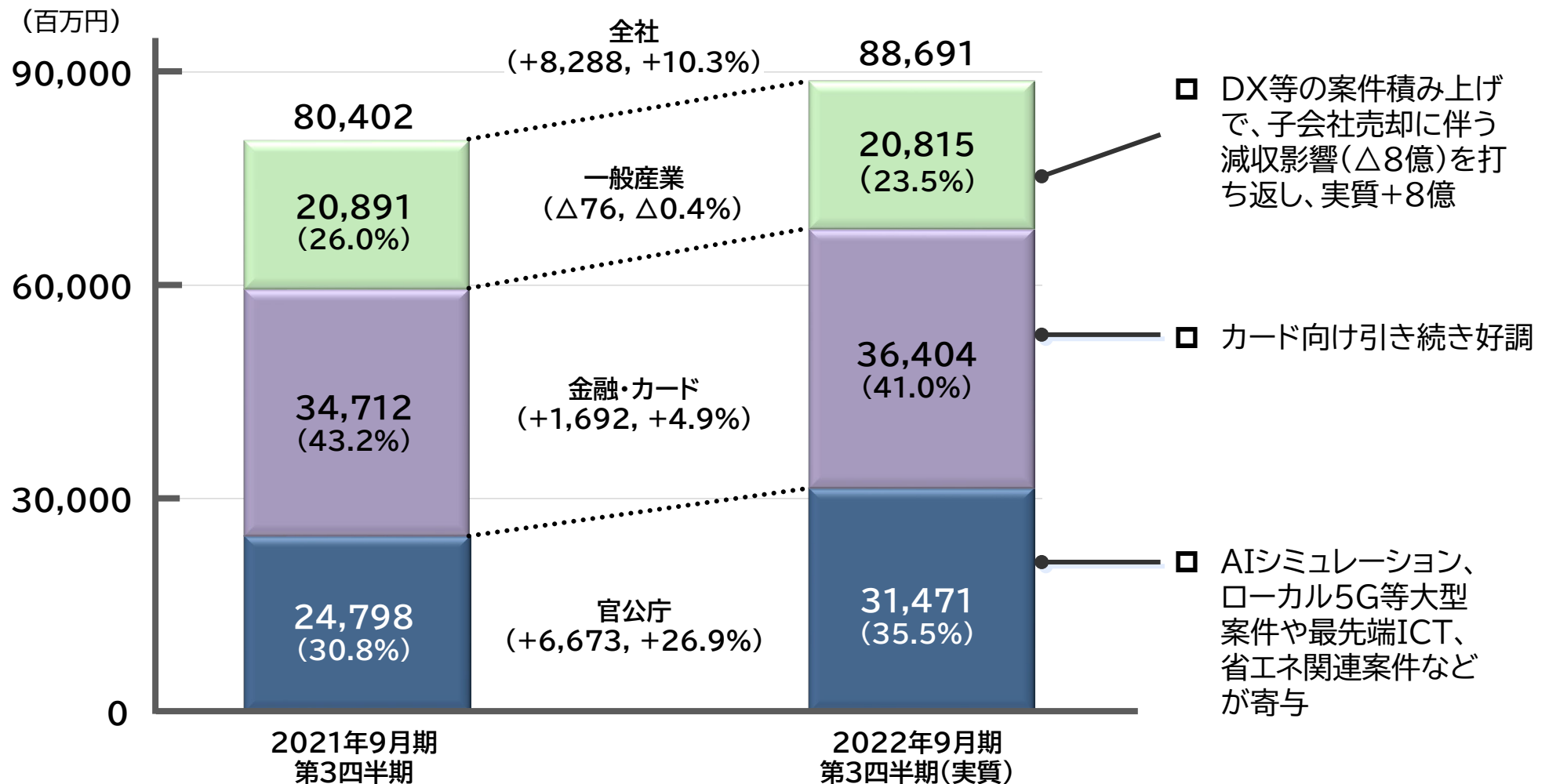
## 主なポイント

- 金融・カード分野の伸長により、実質増収(+19億)・増益(営業利益:+7億、経常利益:+8億)で、過去最高
- 高利益率案件とのミックス改善により、増収とともに営業利益率改善(実質6.1%)
- 受注高・受注残高ともに、金融・カード分野がけん引、実質前同比増



## 顧客業種別売上高 <前同比／旧会計基準>

- すべての顧客区分で増収
- 官公庁が+26.9%・+66億、金融・カードが+4.9%・+16億と全体をけん引
- 実績値(新基準)は次ページ(P10)参照



# 参考)セグメント別・顧客業種別売上高 <前同比>

(百万円)

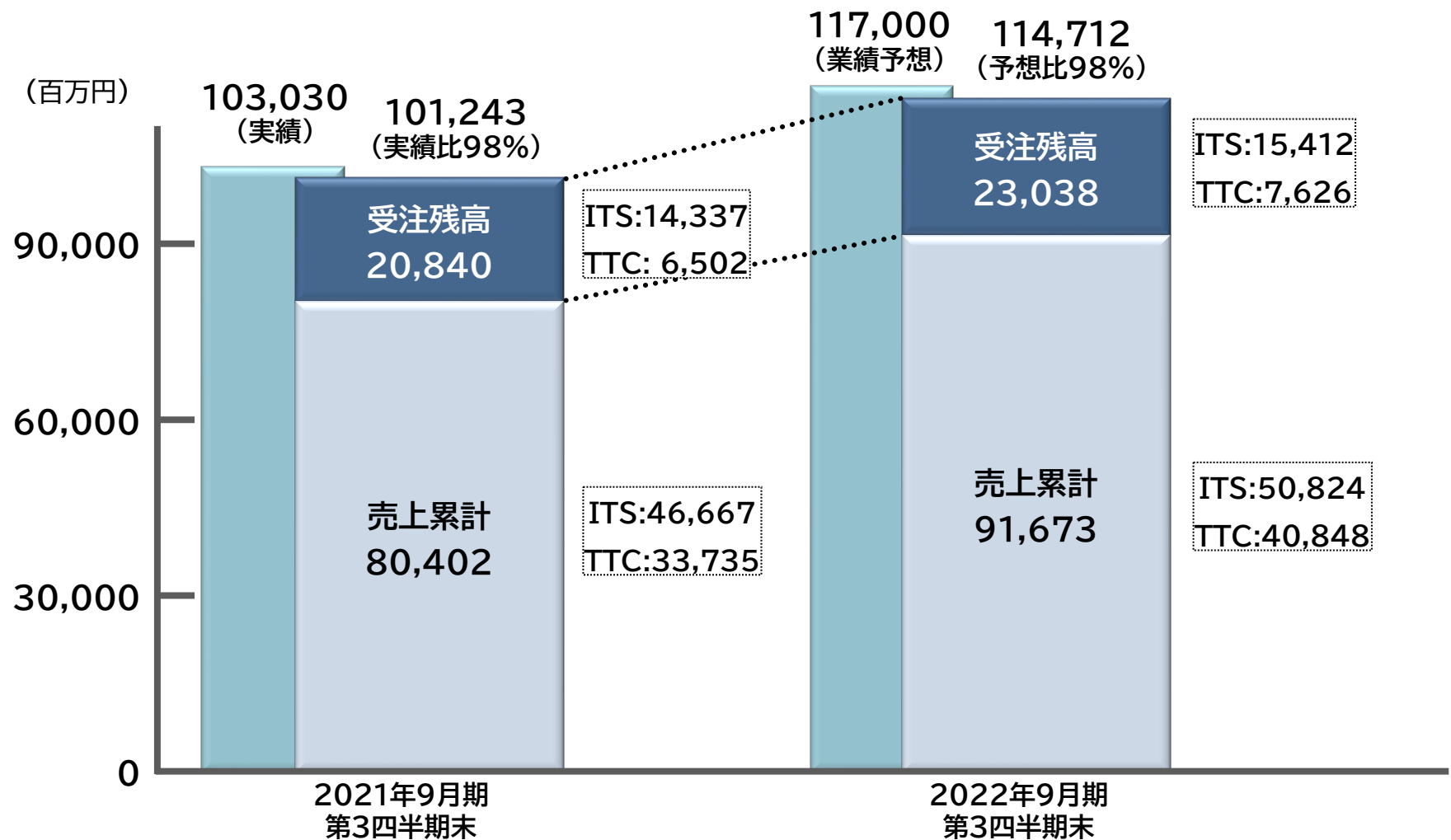
(前ページ(P9)掲載図の内訳)

(新基準による実績値)

		2021年9月期 3Q	2022年9月期 3Q(実質) (旧基準)	実質前同比		<参考>	
				実質増減額	実質増減率	2022年9月期 3Q(実績・新基準)	基準変更 影響
T T C	官公庁	24,343	30,869	+6,525	+26.8%	30,718	△150
	金融・カード	2,540	2,299	△240	△9.5%	2,871	+571
	一般産業	6,851	6,920	+69	+1.0%	7,258	+337
	TTC 計	33,735	40,089	+6,354	+18.8%	40,848	+759
I T S	官公庁	455	602	+147	+32.4%	602	—
	金融・カード	32,172	34,105	+1,932	+6.0%	36,671	+2,566
	一般産業	14,040	13,894	△146	△1.0%	13,550	△344
	ITS 計	46,667	48,602	+1,934	+4.1%	50,824	+2,222
合計		80,402	88,691	+8,288	+10.3%	91,673	+2,981

## 受注残高

- 今期業績予想(修正後)(⇒P13)の98%の進捗率(売上累計+今期受注済残高(今期売上分))
- 進捗率は前同比同水準



- 1 2022年9月期第3四半期決算
- 2 2022年9月期業績予想
- 3 トピックス

# 2022年9月期 連結業績予想

## 通期業績予想を上方修正

- 3Q業績は、売上・利益とも過去最高と好調
- 通期業績を営業利益+15億円、経常利益+17億円、純利益11億円上方修正（⇒P14）
- 「中計2023」の経常利益目標（100億円）を1年前倒しで達成見通し

# 2022年9月期 連結業績予想 (前回(2022/4/28)予想から修正)

(百万円)

	2021年 9月期実績	2022年 9月期予想 (4/28)	2022年 9月期予想 (修正後)	修正額	前同比	
					増減額	増減率
売上高	103,030	117,000	117,000	—	+13,969	+13.6%
シンクタンク・コンサルティング サービス	40,376	48,000	48,000	—	+7,623	+18.9%
ITサービス	62,653	69,000	69,000	—	+6,346	+10.1%
営業利益	6,853	7,700	9,200	+1,500	+2,346	+34.2%
営業利益率	6.7%	6.6%	7.9%	+1.3P	+1.2P	
経常利益	7,568	8,700	10,400	+1,700	+2,831	+37.4%
シンクタンク・コンサルティング サービス	4,197	4,300	5,200	+900	+1,002	+23.9%
ITサービス	3,361	4,400	5,200	+800	+1,838	+54.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,009	6,400	7,500	+1,100	+2,490	+49.7%
1株当たり当期純利益(円)	308.60	394.14	461.88	+67.74	+153.28	

- 1 2022年9月期第3四半期決算
- 2 2022年9月期業績予想
- 3 トピックス

## DX事業

## 1DAYイベント「【MRI DX DAY】DXリスタート」開催



詳細はこちらをご覧ください。↓  
<https://dx.mri.co.jp/dxday2022/index.html>

- DXの成功事例や課題を踏まえた今後の成長やビジネス変革のポイントを、当社グループに加え、7名の多彩な外部講師陣がご紹介するイベントを開催
- テーマとして「DXリスタート」を掲げ、多くの企業に共通する課題を3つのカテゴリーに整理、事例を通して、解決に至った過程やポイントなどをご紹介  
《3つのカテゴリー》  
データ駆動経営 / DXジャーニー(DX実現に至るまでの道筋) / ニューノーマル対応
- 参加者数延べ500名超(当社DXイベントとして最大)
- 当社サイトでアーカイブ配信予定

## 【開催概要】

- 開催日:2022年7月27日(水)9:40～16:50 ※Webイベント
- 共催:三菱総研DCS株式会社、株式会社アイネス、日本ビジネスシステムズ株式会社






# トピックス:最近のリリース

## 【MRI】

日付		タイトル
2022.7.4	ESG	<a href="#">UPDATERと再エネ電力調達に関する実証研究を開始</a>
2022.6.29	DX	<a href="#">第33回「電波功績賞 総務大臣表彰」を受賞</a>
2022.6.27	ESG	<a href="#">ポストコロナにおける働き方・オフィスのあり方に関する調査レポートを公開</a>
2022.6.27	ESG	<a href="#">地域課題を解決する「クラウドファンディングハンドブック」を公開</a>
2022.6.23	ESG	<a href="#">「電力システムの混雑緩和のための分散型エネルギーリソース制御技術開発」の採択および事業開始について</a>
2022.6.20	ESG	<a href="#">新千歳空港を中心とした地域における水素利活用モデル構築に関する調査事業の実施について</a>
2022.6.14	DX	<a href="#">「【MRI DX DAY】DXリスタート」を7月27日に開催</a>
2022.6.6	DX	<a href="#">「HACCPナビ e-ラーニング」を発売</a>
2022.5.30	DX	<a href="#">「actfulness」実現に向け、都市型MaaS実証実験の分析結果を公表</a>
2022.5.25	DX	<a href="#">日本企業のDX推進状況調査結果を公表</a>

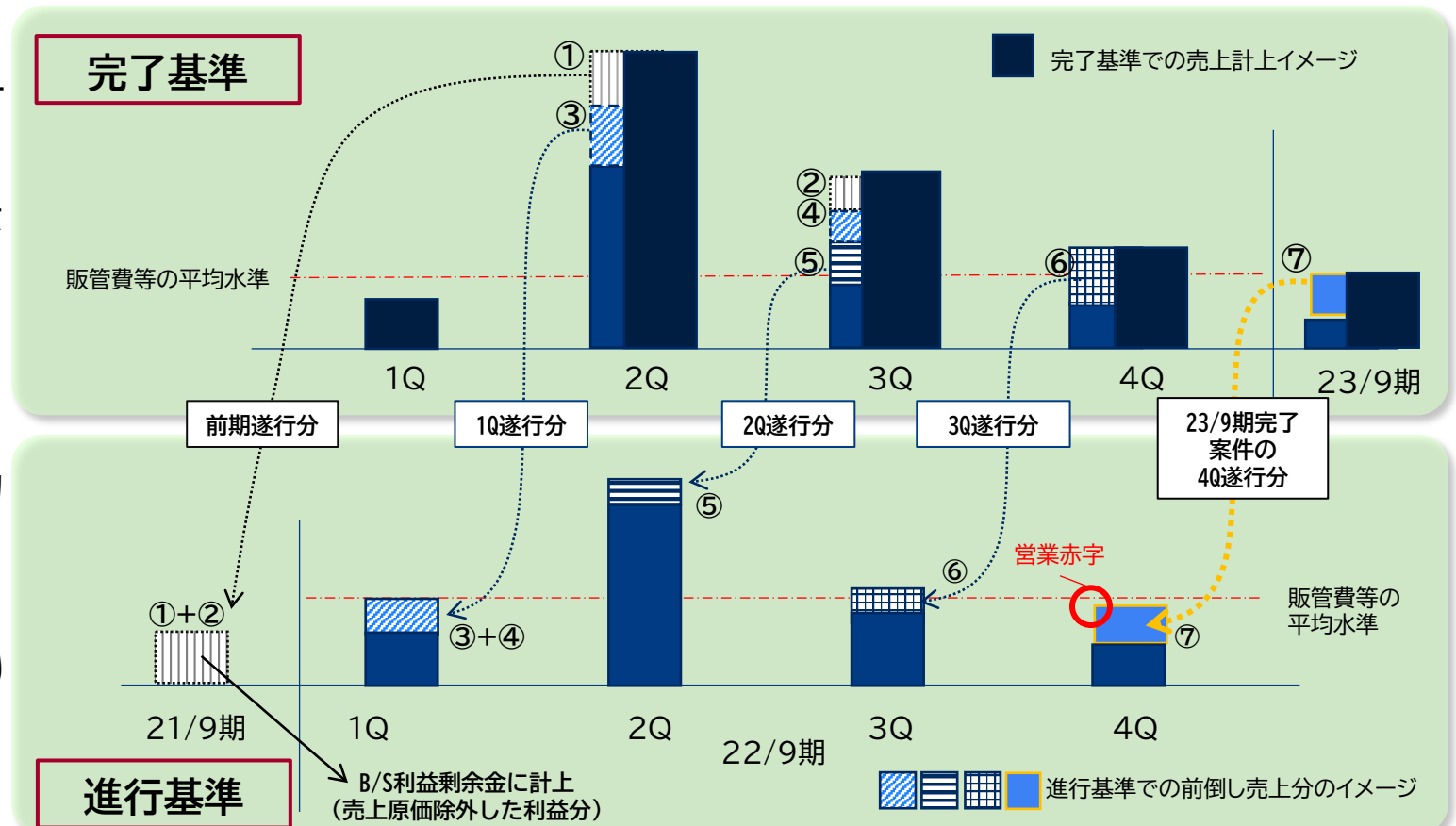
# トピックス:最近のリリース

## 【DCS】

日付	タイトル
2022.7.25 	<a href="#">ロボットを用いた障害児向けコミュニケーション支援ワークショップを開催</a>
2022.6.1 	<a href="#">横浜市「障害者のスポーツや文化活動の充実、施設の利便性向上」の実証プロジェクトに採択</a>
2022.5.11 	<a href="#">Board Japan、システムコンサルティング事業を手掛ける MRI バリューコンサルティング・アンド・ソリューションズと販売代理店契約を締結</a>

## 参考) 会計基準変更による売上・利益への影響イメージ

- 新基準により、「完了時一括売上」から、「遂行期間にわたり売上計上」に変更  
⇒売上タイミングが前倒し(①～⑦)
- 例年官公庁案件中心に3Qに受注し、翌2Qに納期を迎える案件多数
- 一方、3Q以降受注した案件は、進行基準により今期から順次売上計上開始(前同比プラス要因)
- 3Qは、前倒し計上された売上分を進行基準による売上等(⑥)でカバーし、営業黒字
- 4Qは、3Qに前倒し計上した売上と翌期以降完了分の前倒し計上分(⑦)のバランスが影響  
⇒受注額・進捗により売上が小さく、四半期均等に発生する販管費等をカバーできず、営業赤字となる可能性
- 期中受注動向で変動あり



注)あくまで「収益認識に関する会計基準」適用の影響をイメージとして示したものであり、当期各四半期の売上高の増減を正式に予想したものではありません。

## 将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

E-mail : [ir-info@ml.mri.co.jp](mailto:ir-info@ml.mri.co.jp)

URL : [www.mri.co.jp/](http://www.mri.co.jp/)

未来を問い続け、変革を先駆ける

**MRI** 三菱総合研究所